

令和 6 年度

## 学校関係者評価報告書

令和 7 年 6 月 2 7 日

学校法人 向洋学園

宮崎ブライダル&医療スポーツ専門学校

## 令和6年度 学校法人 向洋学園 学校関係者評価報告書

学校法人向洋学園は、当学園の教育理念、教育目的等をはじめとする学校教育及び学校運営について自己評価を実施し、「令和6年度 学校自己評価報告書」を取りまとめ、宮崎ブライダル&医療スポーツ専門学校専門学校に公表致しました。

また、この度、学校関係者評価委員会を設置し、当学園に関連する企業・業界の方々や教育関係者の皆様より当学園の学校教育及び学校運営に対し、幅広くかつ的確なご意見、ご指導を賜りました。頂戴いたしましたご意見等につきましては「令和6年度 学校関係者評価報告書」としてご報告させていただきます。

今後は、委員の皆様から頂戴いたしました貴重なご意見やご指摘を真摯に受け止め、大いなる気づきとし、当学園のより社会のニーズに応えられる学生指導と教育の質の保証及び向上を目指し、教職員一同邁進して参る所存でございます。

関係者の皆様には、今後とも尚一層のご支援、ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

令和7年6月27日

学校法人 向洋学園

理事長 井手脇 康智

## 1. 学校理念

「全ての学生の夢を受けとめ、高い技術力と、豊かな人間性を備えたプロフェッショナルを育成し、社会に貢献する。」

## 2. 宮崎ブライダル&医療スポーツ専門学校校訓

成長

誠実

継続

## 3. 学校の教育目標

1. 学生の夢を具現化するため、教育に携わる教職員一同は常に精進に努め、また、学校はその為の研修等を計画的に行う。
2. 高い技術力を習得させるため、関連業界との連携を深めながら、定期的に技術力の確認を行う教育プログラムを実践する。
3. プロフェッショナルとしての心を育成する為、キャリア教育の充実を図る。
4. 豊かな人間性の構築を目指し、校外での体験、教育の場を設ける。

## 4. 本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

1. 楽しいと学びが共存する学校を創る意図で、各学生がチャレンジする機会や場を創出する。
2. 誰もが安心して自分の思いを発する学校を創る意図で、学生が自身を発揮する
3. 育てたい人間像に向かって自身も成長（前進）する教師のいる学校とする意図で既存の指導に頼らず新しい指導方法を導入し、その効果を図る企画を持つ。

## 5. 討議・意見交換について

1	大項目	教育理念、教育目的、人材育成像
	中項目	教育理念、教育目的、人材育成像
	◆教育目標は学生指導において大事なことであり、具体的によく明記されている。	
2	大項目	学校運営
	中項目	諸規定の制定、学則・細則・内規等の整備、防犯対策、個人情報の保護、意思決定機関
	◆ 防犯、防災対策は、実際と同じように訓練を繰り返すことが二次災害を食い止める前作だと考え、企業でも取り組んでいる。	
3	大項目	教育活動
	中項目	理念・目的・人材像を反映したカリキュラム、カリキュラムの定期的見直し、キャリア教育、授業アンケート、授業計画、成績評価、単位認定、資格試験、教職員
	◆ 全ての教育機関に該当するが、質の高い教育の提供を目指すため、教職員の育成は大きな課題である。積極的に各分野の講演会や研修会への参加や新任職員の研究授業等の方策を講じ、専任講師の質向上のためのたゆまぬ努力を望みたい。	
4	大項目	学修成果
	中項目	就職率・推移、資格取得率・推移、退学率の低減
	◆ 専門学校の使命は、学生の出口（就職）を確保及び、保証することである。資格及び検定試験では全国的にも非常に高いレベルでの合格者を出し、高い就職実績を重ねている現状を継続するべく、今後も日々の努力を忘れず企業との連携及び職業開拓に邁進してもらいたい。	
5	大項目	学生支援
	中項目	進路・就職への支援、学生相談への支援、学生への経済的支援、保護者との適切な連携、卒業生への支援体制
	◆ 学生の希望する就職が適う指導が大切である。同時に、地元産業を支える人材の輩出をお願いしたい。	
6	大項目	教育環境
	中項目	教育施設・設備、学内外の実習・インターンシップ、危機管理
	<p>◆ 実践的な専門課程の教育を学生に提供していくためには、インターンシップは非常に重要なカリキュラムの一環であり、インターンシップの拡充は今後の大きな課題である。</p> <p>◆ インターンシップの時期や期間について一長一短ではあるが、年間計画が決まり次第連絡をいただくことで、学校と受け入れ側の双方がインターンの趣旨を十分理解をした上で実施できると思う。</p>	
7	大項目	学生募集
	中項目	学生募集活動の適正性、教育成果の伝達、入学選考、学納金
	◆ 学生募集は学校経営の根幹となる重要事項である。全ての職員が関わりながら、	

	今後の入学者の確保に向けて鋭意励んでほしい。	
8	大項目	社会貢献、地域貢献
	中項目	社会貢献、公開授業・出張講座、ボランティア活動
	◆ 学外と学生の関わる機会は今後も増やすと良い。	
9	大項目	財務
	中項目	財務状況、監査、財務状況の情報公開
	◆ HP の確認状況を共有するなど、職員がどの程度学校情報を掴んでいるかを運営側も確認することが大切である。	
10	大項目	法令遵守の状況
	中項目	法令遵守の状況、適切な学校評価への取り組み
	◆ 特になし	
その他		
◆ 学生の質の変容もあり、先生方も指導に悩むことがあると推察する。社会と協力しながら育てていきましょう。		

以 上